

中止となったPTA活動

- ・近隣小学校入学式
- ・参列
- ・入学式PTA説明
- ・クラスの親睦会
- ・学校公開受付
- ・委員全体会
- ・合同委員会
- ・歓迎会
- ・高中ミニコンサー
- ・ト受付
- ・入学説明会PTA
- ・卒業を祝う会
- ・小学校卒業式参列等

新たに出来たPTA活動

- ・紙のお手紙廃止
- ・PTAサイト活用
- ・総会オンライン議
- ・決権行使
- ・次年度役員オンラ
- ・イン説明会
- ・オンライン講演会
- ・オンライン制服リ
- ・サイクル
- ・PTA会費還元
- ・オンライン役員会
- ・オンライン実行委
- ・員会
- ・支援本部と受験生
- ・の保護者座談会等

見直されたPTA活動

Before	After
実行委員会は平日昼	土曜午前、夜等 ZOOMで参加も可
お便りは学校で印刷 各クラスに配布	メール配信
広報がPTAに関する アンケート調査1回	PTAへのご意見ア ンケート7回
PTAサイト2年未更新	実行委員会 ニュース他活用
講演会なし	オンライン講演 会実施
未使用の会費は次年 度繰越	会員に還元

コロナ禍でも 止めぬ挑戦

2020年3月2日から、学校は臨時休業。新年度も5月31日まで続き、6月1日から分散登校始まる。その時、高中PTAはどう動いたのか、1年を振り返ります。



初のオンライン講演会は保護者の2人に1人が参加！写真講師吉野邦昭先生

入学式延期

3月から学校が臨時休業となり、子どもたちの学びは止まりました。役員は春になればコロナもおさまるだろうと、新入生の入会セットを

準備したり、委員決めに ついて、計画を立てていたので。ところが、入学式延期が決まり、委員を決める保護者会もあるかどうかわかりません。

オンラインPTA

今年度は保護者のみならず、お家からPTAに参加してもらおうと、総会も委員決めもオンラインで実施することをみんなで検討し始めました。

保護者としても学校の学びが止まってもまなのは気がかりです。オンラインの活用ができないか、ご家庭のインターネット環境調査と、休校中子ども達の学習に関するアンケート調査を学校に提案。アンケート調査のお手伝いをする事ができました。

高中PTA

Today



5月から紙のお手紙の廃止。委員決め、総会、制服リサイクル、講演会、全てオンラインで実施することができました。

好評につき、新年度もオンラインで先着順にします。募集開始時間を、土曜の夜にしました。春休み中にどの委員をやるのか、考えておいてください！どの委員も、フルタイム勤務でも参加しやすくなっています。今年度の委員会活動のクレームはゼロ。「やってよかった！」と、感動の声も続々届いています。

新年度委員決め
「オンラインがいい」
89.4%!

新年度PTA委員決め 4月10日(土)20:00募集スタート

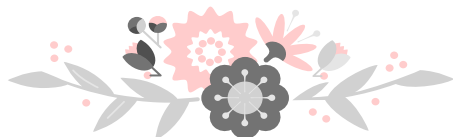
選考は来年の役員選びのお手伝い。今年は、立候補もオンラインでした！

広報は、デザイナーさんにお任せできるので、簡単に出来ることにビックリ!!

地域委員はパトロールしています。オンライン講演会もしました!

学年委員はクラスのみみんなにメール配信しています。

今年度できなかつたことと新たにできたこと



今年度を

振り返って

役員、委員長から最後のメッセージです。新年度の活動の参考になさってください。

会長
山添

今年度もPTA活動にご協力いただきありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響により、学校生活や行事に大幅な変更がありました。PTA活動においても急な変更をせざるを得ない状況になりましたが、保護者の皆様にはご理解いただき、対応をしていただいたこと感謝申し上げます。

初めてPTA役員になり、PTA役員の立場を考えてまいりました。

本来のPTA役員のあるべき姿は、保護者の皆様の意見をくみ上げ裏方として働くことと思います。

PTAは不必要と思われる方がおられるのも事実です。

PTA協議会の仕事が重荷でPTA会長になりたくない人もおられます。

今後、役員を選出が困難になり、従来のPTA活動が継続する事も難しくなる事になると思われまます。

令和の時代となり、今までのPTA活動を見直し、PTA役員未経験の方の意見を聞き、誰でも参加できるPTA活動への改革が必要です。

改革を行うためには、過去のPTA経験談は不要です。

来年度は、保護者の皆様のご意見をアンケートでお聞きしたいと考えております。来年度も引き続き、PTA活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

外副
会長
走内

コロナ禍で、外副の主な活動としての清掃工場運営協議会や高井戸地域区民センター協議会など、地域と関わる会議も全て中止又は書面でのお知らせで終わってしまいました。

そんな中でも防災連絡協議会では地域の方々とコロナ禍における避難所の使い方等を確認ができました。

校内でも、様々な知識や経験のある方々と一緒にきて、勉強になる1年でした。お世話になり、ありがとうございました。

外副
会長
高野

まさかのコロナ禍で例年通りではいかないスタートでした。

そんな中でも、何か出来ることを探りながらPTA活動をやる事が出来ました。それも、先生方や保護者の皆様、そして各委員会の皆様のご協力、お力添えがあったからこそです。本当に1年間ありがとうございました。

内副
会長
勝

ああ、もうアンケート集計をしたり、PTAだよりを作るのも卒業かと思うと、いささかさみしい気がいたします。

「PTAなんて暇な人がするもんでしょ!」と、長年スルーしてきたのですが、昨年広報委員長をやってみたら、怖いPTA役員はいないし(勝手なイメージでしたごめんなさい) 高中PTAは一人一票、みんな平等でとても楽しかったのです。

今年は「やらされるPTAから、やりたくなるPTA」を目指して情報発信してきました。「今年のPTAは攻めますね～」とか「お家からPTAはいいですね」と言っただけで、うれしさ倍増。PTAは、保護者が成長する場でもあるのですよね。

可能性は無限大。ほぼノーリスクで挑戦できるPTAは、スキルアップと多様な価値観に触れられるハイリターンがありました。1年間ありがとうございました。

庶務
坂口

PTAの活動で、難しいものはありません。仕事が忙しい・受験生がいる・高中に知り合いがない。そんな人こそ、クラス委員やPTA役員を経験してみてください。困ったときには手を貸してくれたり、必要な情報を持っていたり集めてくれる人に会えると思います。

庶務
本橋

1年前の今頃は、学校が休校となりPTA役員の引き継ぎ業務も出来ない状況でした。役員に立候補した頃には全く予想されなかった令和2年度の幕開けでした。学校と地域と保護者が協力し、学校生活が健康で明るく充実したものであるように、先人の経験を基に時代に即したPTA保護者の関わり方を改革したいと志した想いは、コロナ禍での未曾有の活動により一転せざるを得ませんでした。

平時の時に当たり前のように出来ていたことができず、それでも『学びをとめてはならない、情報配信をしなければならない』という使命感のもと、前例がない中での活動は、経験豊かでフットワークの良い信頼できる役員の仲間がいたから務めることが出来たと思います。

年度始めに庶務として発注した大量の印刷用紙は、開封することなく次年度へ引き継ぐことになりました。実際に会って活動ではなく、Webを利用しての会議や、書面のやり取りとなり、配布物も学校ホームページを利用するようになりました。新型コロナウイルスが、これまでのPTA活動の仕組みや活動方法を瞬時に変えさせました。それは、実は長年PTA活動の在り方に変化を求めていた多くの皆様の願いを叶えたことにもなったのかもしれませんが、『保護者に届かない配布物』『保護者会へ行かないと出来ないこと』『学校やPTAの不透明な活動』等がWeb活用することにより快適になったのかもしれません。勿論、校長先生のブログのように、更新し続けることは容易なことではありませんが、この経験したことがない状況が、前進するために背中を押してくれたことに間違いはありません。

しかし、どんなに便利になり、効率的になっても私達人間は、誰かとコミュニケーションをとり、寄り添い助け合いながら生きています。多感な思春期の大切な時に学校に行かれない、友達に会えない、人との接触を控えなければならない苦境を味わう我が子の姿をそれぞれのご家庭で経験されたと思います。これからは、効率的になり、便利になっただけではなく、その分学校や子ども達へ目を向けて、保護者が、地域の皆様と共に学校生活を支えていくPTA活動となることを願っています。

長男の卒業に、高井戸中学校のアンネのバラの苗を頂きました。バラの花も美しい花を咲かせる為には年間を通じて丹念なお世話が必要です。子ども達が大輪の花を咲かせる為のよりよい学校生活となりますように陰ながら応援しています。

初めての取り組みやコロナ禍で大変な状況の中、ご対応頂きました各委員会の皆様、学校生活を支え、導いてくださいました先生方、PTA活動にご協力頂きました全ての保護者の皆様に心から感謝申し上げます。

一年間、ありがとうございました。

会計
麦倉

今年度はコロナ渦の最中からの役員スタートとなり、例年通りにはいかに難しくても多々ありましたが、皆様の協力のお陰でなんとか務めることができました。1年間ありがとうございました。

会計
岡野

コロナ禍の中、例年とは違うやり方で進めながらもこれでいいのかなど、常に不安がつきまとう1年でした。そのような状況でも役員同士、オンラインやzoomなどツールを駆使して無理なく出来ることを考え、正解かどうかはわかりませんが常に最善策を、という使命の元、活動して参りました。

今年度の役員は上級生の保護者が多く様々な考え、意見を聞くことで大変勉強になり自分にとって忘れられない一年になりました。

役員、委員長、委員の皆様、コロナに翻弄された一年でしたが、共に協力し活動出来たことに心より感謝申し上げます。

1年間ありがとうございました！

3学年
委員長
伊奈

何一ついつも通りにはいかない今年度。そんな年だからこそ、学年委員8人の持っている力を最大限に出し合った1年でした。

卒業式の日の子どもたちの晴れ晴れとした姿をみると、全ては子どもたちの笑顔のためだったんだと、思えます。

学校は子どもと一緒に親である大人も成長できる場所だと信じてます！！一言「この1年、楽しかった！！」

2学年
委員長
神尾

思わぬお役をお引受けしましたが、たいへん有意義な時間でした。子供たちのために今出来ることを話し合い、知恵と工夫を持ち寄って活動した一年。たくさんの刺激と支え、ご縁に感謝しています。

1学年
委員長
前田

この一年は学年委員で集まることがほぼ出来ず、SNSを通じた話し合いから何とか活動に結び付けることができました。

これがもし実際に顔を合わせ話す機会が多かったなら、もっともっと色々なアイデアを出し合い膨らますことが出来たのではないかと、それだけが少し残念です。コロナに振り回された一年でしたが、新しいことにチャレンジ出来た、貴重な一年でした。

一年間、ありがとうございました。

選考
委員長
川井

1年間お世話になりました。

今年度は、直接保護者の方とお会いできないため、オンラインを活用して活動しました。コロナ禍の影響でしたが、今までとは違う新しい形の委員会活動の始まりになったのではないかと思います。

私自身は、初めて委員長役で、引き受けたものの最初は不安もありましたが、実際は一人ではなく役員・同じ選考委員の皆さまにアドバイスやご協力を頂けて楽しく活動ができました。

この場をお借りして皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました！

地域
委員長
柴田

大変な一年となりました。

季節折々の地域の行事を、再び皆さんと楽しめる日が一日も早く来ますように。

広報
本郷

PTAをボランティア団体と呼ぶことに僕は些か違和感を持っている。

自主性・連帯性・無償性という基本定義を基に本来のボランティアがあるとして、PTAという組織では、とりわけ「自主性」に乏しい人が多いのが実状だからだ。

PTAは古から存在し、当然のごとく半ば強制的に入会させられ、必要とされる負担を振り分けられる、、、。子どもの在学中なるべくなら行き違いたいと思っている。そう考える保護者も少なくないだろう。

任意団体なので会員になれば協力しなければならない事柄は確かにある。でも、活動自体を義務だと考えるのでは無く、会員各々が持つ権利として捉える事も大切だ。其々の会員が同等の権利義務を持った民主的団体として成り立っている事を忘れてはいけない。(そういう意味でも一部の人だけが長く続ける事は健全では無いだろう)

常に行動と心は相対的だ。消極的に活動すれば憂鬱で辛くなるものだし、積極的に活動すれば心豊かになれるし楽にもなる。やってみたら良い経験だったという感想は意外にも多いのが現実だ。

僕も最初PTAとは魑魅魍魎が跳梁跋扈している伏魔殿だと勝手に想像し憂鬱だった。

でも、今は違う。PTAは僕にとって大事な人間活動だ。生業と同等の仕事といっても過言ではない。内外の沢山の人たちや組織と出会い多くの学びがあった。それらは自分の財産となっている。具体的な理由やエピソードはここに記さないが、、、。

昨今「このコロナ禍でPTA活動を見直しスリム化を計りましょう」という言葉をいたるところで仄聞する。それが社会の要請で有れば当然その必要は出てくるだろう。しかし、見直しには審美眼が問われる。僕が初めて会長を務めた時、一見無駄だらけに映るモノやコトが結構あった。でも、調べると目的や理由と成り立ちがしっかりと存在していた。果してソレは役目を終えているモノやコトなのか？そこをしっかりと検証するべきだ。

今年度、広報委員会に所属した。膝をつき合わせた綿密な編集会議は一度も出来ず、少人数のプチ会議やリモート会議、LINEとGoogle driveでの事務やり取りを駆使して何とか印刷まで回した。やってみたら意外にも楽し効率的だった。(完成度は兎も角)

だが、広報委員会はモノづくりの委員会。配布となると直接集まって手作業をしなければならない。とは言えども、出来立てほやほやの広報誌を直接手に取り、まるで我が子を愛でるように眺め、感慨に耽るのもまた一興だったりする。(完成度は兎も角)

そういう意味では僕ら広報委員はデジタル作業に生命線を救って貰いながら、一方で抗う事が不可避なアナログ作業の中に温度と実感を見出せたともいえる。

コロナ禍で急速に発展しつつあるデジタル化だが、アナログにしか無いモノやコトの大切さは決して遺棄してはいけないと思う。それが僕からの漠然とした感想だ。

何だかやたらと長文となってしまう僕のPTA人生に於ける老婆心だらけの遺言書のような駄文だが、もしかしたら来年も気儘に何処かの委員会でゆらゆらとしているかも知れないので、その時は大目に見て欲しい。